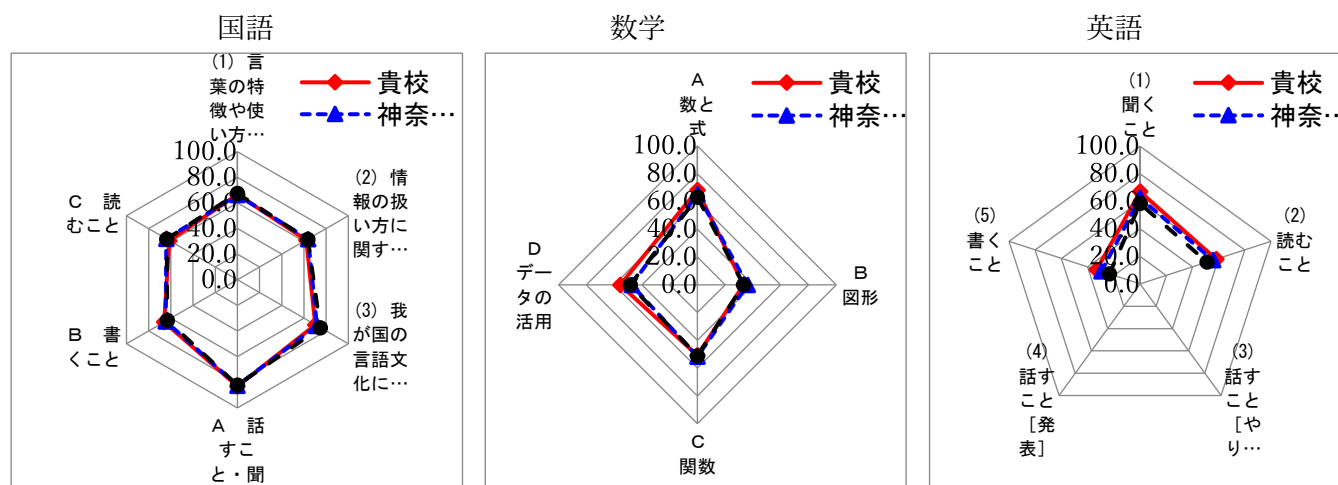


令和5年度 全国学力・学習状況調査(舞岡中学校の結果)

4月18日に実施された全国学力・学習状況調査の本校3年生の結果の概要をお知らせします。



【分析】

国語科では、「言語文化に関する事項」「話すこと・聞くこと」の項目が、県・全国の平均を上回りよくできていました。一方、「情報の扱い方に関する事項」については、やや課題があります。数学科では、語句の意味の理解、基本的な計算問題、データの活用問題については、県・全国の平均を上回っていました。一方、「空間図形、事象を数学的に解釈し問題解決の方法を説明する問題」については、課題がありました。英語科では、「情報を正確に聞き取る問題や短い文章の概要や要点を捉える問題、読み取り問題」については、県・全国の平均を上回っていました。情報を正確に読み取る問題、事実や自分の考えなどを処理し、まとまりのある文章を書く問題では、やや課題がありました。

また、生徒質問紙の調査の結果から、教科の学習に対する関心は教科により多少差はありますが、教科の基礎学力はどの教科についても、神奈川県基準より上回っています。

学校生活については、「学校が楽しい」と思っている生徒は県・全国の平均を大きく上回っています。一方、「自分にはよいところがあると思うか」という質問については、県・全国の平均を下回り、自己有用感がやや低いことが見受けられました。

【今後の取組】

全体的にみると、三教科ともに、県全体・市の平均を上回っており、基礎基本の学習内容は、着実に定着しているようなので、今後も継続的に、丁寧な指導を行います。また、どの教科についても、記述式の問題や、自分の考えを述べる問題に課題があるので、日ごろの授業の中でも、応用力をみにつけられるよう、ICT等も利用しつつ、授業改善を行っていきます。

さらには、生徒ひとりひとりの課題に合った指導やアドバイスを意識していきます。また、日々の関わりの中で子どもたちが達成感を感じられるよう、声掛け・指導をしていきます。